

北杜市地域公共交通活性化協議会

平成20年8月25日設置
平成21年3月26日連携計画策定



概要

- 本市は、8町村が2度の合併により誕生し、山梨県で最も面積が大きい中山間地域である。
- 中央本線・小海線の2鉄道路線に6駅があり、バス交通は市民生活の足となる15路線が運行されているが、8地域を結ぶ路線が十分でないこと、接続性の面でも市民や来訪者が移動に不十分である。
- 本市は、広大な面積を持ち、地形も複雑であるため、各地域を結ぶ公共交通の充実によって一体性を創りだすことが重要な課題になっている。
- 高齢化が進んでおり、通院・買い物などの高齢者の日常生活に対応できる利用しやすい公共交通の充実が求められている。

○北杜市デマンドバス実証運行事業

- ◆実施エリア: 昨年実施した2エリアの利用者評価を踏まえ、運行地域を拡大して3運行エリアとする。
- ◆運行時間: 午前9時～午後4時(原則)
- ◆運賃: 昨年実施した利用者評価を踏まえ、1回の乗車300円。
- ◆運行車両: 3エリアを7台運行(10人乗りワゴン車)

○利用促進方策(21年度～22年度)

- ◆市民のデマンドバス利用およびニーズ調査
- ◆市広報、HPによる情報提供、高齢者に配慮した予約マニュアル及びパンフレット作成
- ◆病院、ショッピングセンターと連携した利用しやすい運行方策の実現
- ◆住民同士の会議等により、乗降場所の決定及び運行協賛金等の考察

○公共交通の総合的な運行の見直し(21年度～23年度)

- ◆市民バス運行の方法(路線、運行時間帯など)の見直し
- ◆デマンドバスと路線型バスの複合型運行の検討

